

中学校区理念	【玉陵小・中学校 学校教育目標】 故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成			
	「知」自分の言葉で自信をもって表現できる力 「徳」よりよい社会の実現に貢献できる高い志 「体」人生を生き抜く健康や体力			
具体的目標 【共通】				
校訓	つよく かしこく なかよく あかるく			
子ども像	自他を大切にし、思いやりのある心豊かな児童	心身ともに健康で、生涯にわたって運動に親しむ児童	希望する進路に向け、主体的に確かな学力を身に付ける児童	
本校児童に身に付けさせたい資質・能力 （本年度重点：太字）	重点 気持ちの良いあいさつ 思いやりを言動で具現化	重点 自分の命は自分で守る 進んで身体を鍛える	重点 瞳耀く授業・単元デザインの追及 学習習慣の定着	
(1) 自ら進んで学び、目標をもって自己の将来を拓く力				
①主体的に学ぶ力（主体的に知識・技能を身に付け、身に付けた力を日常生活の中で活かすことができる児童） ②継続力（困難な状況にも耐えうる意志と体力をもち、最後までやり抜くことができる児童） ③実行力（目標を実現するまでの見通しをもちながら、自ら進んで、素早く行動することができる児童）				
(2) 課題を発見し、課題解決のために主体的に考え、行動する力				
①思考力（課題を見いだし、論理的に考え、その考えを説明することができる児童） ②判断力（物事を客観的に観察・整理し、自分の意見をもち、他者に伝えることができる児童） ③表現力（適切な方法で創意工夫しながら、自分の言葉で他者に分かりやすく伝えることができる児童）				
(3) 友達と協力し、互いに磨き合い、チームで活動する力				
①規律性（生活のルールや人との約束を守り、学校全体のよりよい生活のために周囲へも働きかけることができる児童） ②傾聴力（他者の話を受け止めながら、話の内容を整理して、熱心に聞くことができる児童） ③協働力（他者に働きかけ、周囲と協力し、他者の力を引き出しながらチームで活動する児童）				
(4) 地域と関わり、社会とのつながりの中で自己の能力を活かす力				
①地域参画力（郷土のよさを理解し、故郷に愛着と誇りをもち、自分の力を活かして地域に主体的に関わることができる児童） ②社会参画力（グローバルな視野をもち、社会とのつながりを意識しながらよりよい社会の創造へと行動することができる児童）				
★「熊本の学び推進プラン」を具現する★				
△学ぶ意味を問しながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けた児童 △ふるさと熊本に根ざし、豊かな郷土の創造と自己の向上を目指し、能動的に学び続ける児童 △問い合わせし、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める児童 △自分の学びの姿を知り、日々たゆまず、自ら学ぶ児童				
児童の課題	「自己有用感の向上」「自治的な集団形成」	「安全行動の徹底」「継続的な体力向上」	「主体性」「対話・交流の活性化」	
基本方針	人権尊重の精神を基底に、コミュニティ・スクールの組織を活かしながら学校・家庭・地域・児童・行政が五者連携・協働し、児童自らこれから先の予測困難な時代にあっても自ら学び、自ら考え、判断して行動し、社会を「生き抜く力」をつけるために、「カリキュラム・マネジメント」及び「学校における働き方改革」を推進しながら、効果的な教育活動を持続的に行う。			
経営の基盤	・日本国憲法・教育基本法・学校教育法等関係法令等・熊本県児童生徒教育指導の指針・熊本県教育大綱・くまもとの教職員像 ・第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン・熊本の学び推進プラン・熊本県教育委員会各課取組の方向・玉名教育事務所教育指導の重点 ・第3期玉名市教育振興基本計画・玉名市教育目標・玉名市学校教育目標・玉陵中校区小中一貫教育グランドデザイン			
学校像	児童は「毎日行きたい」、保護者・地域住民は「子どもを通わせたい」、職員は「明日も仕事をしたい」玉陵小学校			